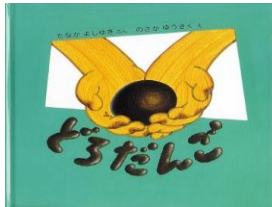




先生のおすすめ絵本

どろだんご

〈文〉 田中義行 〈絵〉 野坂勇作 〈出版〉 福音館書店



タイトルの通り、泥団子を作る過程がテンポの良い言葉と共に描かれている一冊です。土を掘って、水と混ぜてかき回し、途中泥遊びに発展しながらもおだんごの形にしたら砂をまぶして優しくなでる。ひびが入っても大丈夫！水をつけてやり直そう。たくさんなでればかたくてピカピカのどろだんごが出来あがります。出来たおだんごを落としてみたり転がしてみたりして、友達と固さ比べをする楽しい場面も描かれています。ひまわり組の子ども達も、どろだんご作りに夢中になる子がたくさんいます。毎日のように作っているだけあって、固くて光るだんごを作るのがとても上手なのです。園庭のどの土で作ると良いのか、白砂がある場所など私よりも詳しい子ども達です。この絵本を読んで、共感できるところがたくさんあったのか、友達と「そうそう、こうすればいいんだよね。知ってるよね。」と顔を見合わせて話している姿がありました。
〈ひまわり組 K先生〉

ほげちゃんまいごになる

〈作〉 やぎたみこ 〈出版〉 偕成社



ゆうちゃんがお気に入りのくまのぬいぐるみ「ほげちゃん」。動物園へ一緒に行った方がいいけれど「落とすといいけないから」とカバンの中に入れてしまいます。真っ暗なカバンの中で耳に聞こえてくるみんなの楽しそうな声。ついに我慢できずにカバンから出てしまったら、大変！地面に落ちてしまいました。そのことに気付かずに行ってしまった家族を探す、ほげちゃんの冒険が始まります。素直すぎるくらいに感情をストレートに出すほげちゃんにもも組の子ども達は大笑い。「はなせー！ごらー！あんぼんたんのオタンコカラス！！」の台詞が一番のお気に入り。子どもながらに普段は言わない方がいい・・・と感じている言葉を思いっきり言うほげちゃんにスカッとしたり、面白さを感じるようです。さて、ほげちゃんは無事に家族に会えたのでしょうか。ユーモアたっぷり、ドキドキハラハラの楽しい絵本です。シリーズ4作出ていますので、親子で一緒に楽しんでみて下さい。

〈もも組 O先生〉

※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。

読み聞かせノートより

昨年度は、コロナの影響でぶれーめんの活動も例年通りにはできませんでしたが、たくさんの親子が絵本の部屋を利用してくれました。

2020年度 絵本の部屋 利用実績

利用人数 **326人**(延べ)
貸出冊数 **940冊**

(絵本の部屋オープン回数
1学期0回、2学期9回、3学期7回、計16回)

貸出回数ランキング

「のらねこぐんだん シリーズ」	49回
「あきやまただし へんしんシリーズ」	26回
「ヨシタケシンスケ シリーズ」	25回

あついあつい

〈作〉 垂石真子 〈出版〉 福音館書店

今日は汗ばむ位の陽気、すみれさんたちも外でいっぱいかきまわって「あつい、あつい」。さて、そんな時は・・・？物語の動物さんたちがとった行動に、すみれさんたちの思いが重なるかしら、そんな気持ちをこめて、読みました。



〈すみれ組 Yさん〉



編集後記

ぶれーめん役員になり、改めて絵本の部屋にある絵本を見てそのバラエティの豊かさに驚いています。昔から読み継がれている定番から最新絵本まで大人も夢中になる品揃えです。市の図書館では何人も予約が入っているような絵本もあります。まだ絵本の部屋に来たことがない！という方がいらしたら、ぜひ一度足を運んでみませんか？

〈ぶれーめん役員一同〉